



3月号
発行
大沢ふれあいのまちづくり
協議会広報部会
<http://www.ozo.jp>

神付産土の森

うぶすな

いま、市民農園「神付ふるさと村」に隣接した里山(二十ヘクタール)で、下刈りや古損木の除去、

散策道の整備、案内板の設置作業が進められています。作業小屋と炭焼窯もほぼ完成です。かつて里山から伐採した木は炭にして料理に使い、薪を割ってお風呂を沸か



炭焼き釜の工事中 3月18日

したりと貴重な燃料でした。田や畑に使う肥料は落ち葉を集め肥料にしたものです。春や秋には山菜や木の実が私達の舌を楽ませ、ツルや竹は生活雑貨に生まれ変わります。

こうした繰り返しは、ついこの間までの当たり前のことでしたが、いまは人と里山とのつながりも薄れて荒れ放題、昼でも薄暗い有様になってしまいました。もう一度かつてのようなきれいな里山に出来ないか兵庫県に相談をしましたところ、こころよく引き受けていただき昨年から二カ年で事業を進めていただいています。この地域には神付の守り神であるお宮さんやお稲荷さん、愛宕さんが祭られていることから、産土(うぶすな)の森という名前をつけて「神付・産土の森の会」を二月に発足しました。地域住民や農園利用者、

森林ボランティアなどで、楽しい汗を流して、この里山をいつまでも美しく保っていきたいと思っています。

また炭焼窯は、いまも川西で室町時代から続く茶道用の高級炭(菊炭)を焼いておられる全国的にも有名な今西勝さんに工事をさせて頂きました。太古の時代から生活を支えてきた里山は、いまも私

達のかげがえのない宝物です。

この里山と隣接する市民農園や地域との連携を図りながら多くの市民が集い、楽しみ、学ぶ里山として活用していきたいと思います。ここで子供たちを自由に遊ばせたい、炭焼き体験も楽しい。里山を通じて創造力を持ったたくましい子供達が育ってくれば良いと思っています。(岩田 恪夫)

大沢町&FFP

地産地消協議会

コンパクト研究会、農業活性化部会では本年度は、フルーツパークと連携して「食の安全」と「地産地消」を目的とした事業を計画しています。三月二日には

会議の後で料理長さんによる

第二回の会議を、地元側からは婦人会長にも参加をいただき、パーク側も金井社長をはじめ役員や各料理長も出席され総勢十九名もの多勢の会合となりました。大沢町にはいつ頃どのような食材があるのか、どうすれば集客に結びつくかといった話や、昔から伝わる料理方法などが話し合われました。

「たけのこ」を使った様々な料理が提供されました。今年、春には「たけのこ」、夏には「まるかじりのできる夏野菜」、秋には「黒豆刈り」をテーマとして進めていくことが決まりました。フルーツパークが開園されて約十五年が経とうとしていますがこれまで地元との連携は十分ではありませんでした。今後は「地産地消」という共通の目標に向かって努力したいと思えます。(藤本 喜郎)

大沢婦人会新体制決まる!

野には梅の花、水仙の花が咲き乱れ、山には鶯が鳴き始め、とてものかな清々しい好季節となつてまいりました。会員の皆様方には日頃より大変お世話になり誠に有難うございます。

この度の役員改選により、器でもない私が会長という大役をお受けすることとなり、果たしてご期待に添う活動が出来るかどうか大変不安に感じております。前会長の高山様がJA北女性会本会副会長となられ、急遽会長に選任されました。今回は異例ではあります

が、JA女性会会長を西浦様に、連合婦人会会長を私が努めさせていただきます。ご存知の通り婦人会活動は年々多忙を極め会員の方々の協力なくしてはとても運営して行けません。押しやり引いたりしながら、会員の皆様と共に行事を通じて楽しく有意義な時が持てたらと思っております。ご迷惑をお掛けする事が多々あると思えますが皆様の

温かいお心でご協力・ご助言を宜しくお願い致します。

県の助成を受けて改装工事が進んでおります地域福祉センターを中心に、老若男女、子供達も一緒になつて楽しい交流の場が持てるよう会員の皆様の希望を聞きながら活動をして参りたいと考えております。この度一緒に活動して頂ける本部役員の方々をご紹介します。

連合会長 和田 佳代子

JA会長 西浦 美恵子

連合副会長 渕上 恵子

JA副会長 榎本 操

連合会計 北本 和美

JA会計 岩形 喜美代

書記 藤崎 優子

微力ながら力を合わせて頑張りますのでご支援、ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。(和田佳代子)

青少年育成市民運動

春季強調期間実施中

この春休みの期間、青少年の健全育成市民運動が展開されております。この期間の運動は、入学や進級で子ども達の生活環境が大き

く変わる時期に、次のステップに向けて希望を持って力強く前進できるよう、大人たちが適切な支援をしていく期間でもあります。子供たちとふれ合い、話し合う機会を多く持つ中で、健全な育ちを支援していただきますようお願いいたします。

又、過日、インターネットや携帯電話を使った犯罪の防止について、育成委員・PTAの方とともに研修をいたしました。講師の、北部少年サポートセンターの金尾所長は、「これらによるいじめや犯罪が増している。パソコンは家族がみんなで見える場所に置く、携帯は買い与えるときにきちんと約束ごとを決めるのが大切。もし心配な事があれば、582-4537サポートセンターへ相談して下さい。」と話されました。

(和田 耕次)

情報の行き交う まちづくりをめざして

私たちのまちにおいて、地域の皆さんへの情報提供の手段としては、地元の広報誌「光山だより」、

大沢町のホームページ等があります。まちづくり部会では、地域の拠点となる地域福祉センターの改修を機に、情報収集の手詰まりの現状を見直し、情報の発信、提供をしていただけるシステム(流れ)づくりを健闘しています。

その方策の一つとして、自治連合会、各地区自治会、婦人会、女性会、学校、児童館等において実施される事業または実施した事業、地域内・団体内における出来事等事の大小・有無を問わず、定期的に簡単な一定の様式により、情報提供のお願いをしたいと考えております。

情報発信により、地域コミュニティがより一層活発化するよう、地域内における情報のキャッチボールの出来るシステムづくりに皆さんご協力をお願いします。

また、昨年度から実施し好評でありましたパソコン教室を新年度も開催したいと考えております。広報誌「光山だより」等にてご案内させていただきますのでご参加ください。(大家 重明)

平成二十年度(第七二回)
大沢戦没者追悼慰霊祭について

ようやく寒い冬が過ぎ、桜花爛漫の季節になってまいりました。毎年この季節になりますと、忠霊塔での慰霊祭を思いおこします。

大沢自治連合会の皆様方を初め婦人会、松寿会、郷友会、フレッシュミセスの皆様等のご支援ご協力を頂き、町内各種団体の皆様方のご来賓を仰ぎ、今年も慰霊祭を行なうことが出来す事は、私共遺族会にとりまして誠にありがたく心より感謝申し上げます。

終戦を迎えて六十年余りが過ぎました。この大沢町内の戦没者は八四柱の方でございます。若い元気な青年がそれぞれの戦地で猛暑と飢餓に苦しみ、また極寒と病苦に耐え忍びながらの行軍、戦闘はまさに壮絶の戦場であったと聞かされます。両親を、そして故郷を思い浮かべながら平和と幸せを念じつつとうとう力尽きはて、野末の露となられました。

今を生きる我々は、何年たとうとも尊い犠牲となられた方への思いを抱き、二度と戦争を起ささせ

ない平和な日本、更なる平和で安心な社会の建設に貢献しなければと存じます。

式典は、左記のとおりです。
日時 平成二十年四月十九日(土)
午前十時三十分より
場所 やすらぎの丘 忠霊塔

一人でも多くの方のご参拝、ご焼香をお待ちしております。やすらぎの丘周辺が、大変きれいになりました。地滑り防止工事、災害復旧工事等が実施され、広くなり景観も良くなりました。ありがとうございます。 (小西 篤信)

大沢を巣立つ子供たち

十四人の子供たちが大沢中学校を卒業されました
おめでとうございます
僕が中学校生活で一番心に残っていることは、副会長として頑張ってきたことです。一年生のとき、立候補してだめだったけれど、二年生のときに再チャレンジしました。それは、大沢校のために何か役に立ちたかったからです。一年間あつというまででしたが、一年生を迎えるための歓迎遠足や、全校生徒に向けて頑張ったあ

いさつ運動で少しは何か役に立てたと思います。 (乗池 洋佑)

中学校生活で一番印象に残っている学校行事は、三年生最後の合同運動会です。
今年のリズムなわとびでは、自分たちで動きを考えた創作なわとびをしました。飛び方を重ならないように注意したり、なわとびで飛ばないときのふり付けなどを考えました。バランスよくなるように注意し良い創作が出来ました。練習してきた成果を出し切り、引つかかる事なく最後まで楽しく飛ぶことが出来ました。

とても充実感でいっぱいです。良い演技が出来良い思い出ができました。 (芝山 怜那)

『大沢に想ひ』

* 綱引き大会を観戦いただいた準町民の澤島さんにメッセージをいただきました*

光山だよりを毎回楽しく拝見しております

この度「光山寺」が神戸らしい眺望一〇選に選定され、おめでとうございます。私も、般若山「光

山寺」から眺める大沢は大好きで、訪ねるたびに山から展望します。私はコンパクトタウン研究会の

「大沢ポイントラリー」を知り、三年前、一月のほとんどまつりから各種イベント、いちご狩り、秋祭り、町民芸術祭等、フルシーズン大沢に足を運び、自然一杯、歴史あるおおぞうを堪能させていただきました。そして平成十七年「準町民」に認定され、その後四季を求めて訪れ新緑紅葉を楽しみ地元野菜や花を買って帰ります。さて三月二日「しろんと綱引き大会」の応援に出かけ、参加された皆様

がチームワーク良く粘って頑張っておられた様子に感動いたしました。そして地元の皆様が手作りされたお餅やたこ焼き、手打ちそばを美味しく頂き大沢町を散策し満足できた一日でした。伝統ある綱引き大会が、今後益々盛んになることを願っています。大沢町の皆様、これからも大沢を愛し楽しみたいとおもっておりますので、宜しくお願いいたします。(私が大沢で撮影した写真を神付ふるさと村に展示していただいております。)

(準町民 澤島 好利)

おばあちゃんのおすすめ

きゅーちゃん漬け

最近何かと話題になっていいる食の安全について考えてみたいと思います。私たち農家は、自分で食べる野菜は出来るだけ農薬を使わないで作りたいものです。これからたくさん取れるきゅーりで一度作って見て下さい。

《材料》きゅーり 1kg
砂糖 200g しょう油

三百六十cc 酢 五十cc みりん 五十cc ごま少々 土しように少々
《作り方》きゅーりは良く洗って三〜五ミリの小口切り塩を少々振りかけて四〜五時間位置く。調味料を火にかけて沸騰させる。沸騰したら火を止め千切りにした土しようにといりごまを入れて「たれ」を作り冷やす。きゅーりは布の袋に入れてしぼり水分を取る。冷やした「たれ」ときゅーりを混ぜて冷蔵庫に入れて保存する。

※長く保存する場合はビンなどに入れて密閉して保存する。食卓に出すときは小出しすると良い。調味料は家族の好みで加減してください。
(乗井 慶子)

行事予定4月

フルーツ・フラワーパーク

開園15周年フェスティバル

4月20日～5月6日

4月20日 神戸市消防音楽隊
兵庫商業高校龍獅團
関西学院大学 よさこい連
ちめいどライブ

26日・27日 じゃんけん大会

27日 八多保育園児の太鼓

投句

俳句	秘やかに雑木林や春を待つ	たみえ
”	春の雷ひびく山並み過疎の村	弘枝
”	古障子隙間のひかり二月かな	三恵子
”	曾孫とや散歩したいよ春を待つ	正昭
”	山眠る山家の犬の吠ゆるかな	しろう
”	春雷の予報的中丹波かな	三恵子
”	雪の日やお手玉作り母を恋ふ	昭
”	行く水の音芹の芽の青さかな	三恵子
”	こぼれ日を受けて芽吹きて木々の枝	佐代子
”	フキのとう三寒四温で顔お見せ	晴耕

眺望10選写真展日程決まる

「神戸らしい眺望景観」に選ばれた10選の写真展が四月一日から四月十四日までさんちかの「花時計ギャラリー」で開催されます。是非、町民の皆さんご覧になって下さい。

町民の動き

中大沢の住民になりました

巴月一人(はづきかずと)さん

愛子(旧姓小方)さん

湊人(ひろと)ちゃん 1歳

釉子(ゆうこ)ちゃん 0歳

おめでた

2/7 辻井雅明さん(神付)

順子さんと(京都)

おくやみ

2/24市原 宇滝 平夫さん 81歳

2/26中大沢 仲岡 巖さん 76歳

3/14市原 宇滝きよ子さん 94歳

お詫び

大沢町社会福祉協議会に岡波則夫様(中大沢)和田登様(中大沢)より善意のご寄付をいただきました。ご寄付の趣旨にそって有意義に使わせていただきます。ありがとうございます。

二月号社協の寄託文中藤井尚様は藤井尚志様の誤りでした。訂正しお詫びいたします。

大沢町社会福祉協議会への寄付

受賞おめでとうございます
小西加奈さん
「ゆずりは賞」兵庫県教育長2/18
「こうべユース賞」神戸市2/9